

小学生・中学生募集

夏休み アクティブラーニング



今自分にできる
17のゴール
なんだろう？

普段できない経験を夏休みに！

場所：花見川区保健福祉センター 3階大集会室

日時：7/25(木) 8/1(木) 8/8(木) 8/22(木) 8/29(木)

10:30~12:30

～見つけよう！AIにできないこと！～



千葉大
留学生ボランティア



中・高生ボランティア



AIの時代、AIにできないことを見つけるのが今回のアクティブ・ラーニングのテーマでしたが、「AIがどんなに発達しても、ロボットは家族にはなり得ない！」『私たちは、ただ一緒にいるだけで、幸せをシェアできる！AIにはできないことだよね！』というのが、子どもたちの結論でした。このイベントで一番学ばせてもらったのは、主催者側の私たちかもしれません。

ヒノキの積み木プロジェクト

～自然の樹木で五感を使って！～



ヒノキプロジェクトは、毎週木曜日10:30am～12:30pm 花見川区保健福祉センター3Fで実施してきました。現在新型コロナウイルスの影響により、この活動は『三密』を避けられないため休止していますが、地域の子どもたちは、再開を心待ちにしています。これらの積み木は、菊池建設株式会社の協力により、廃棄する木材を使って後期高齢者の方々の手作りによって作られたものです。子供達は、自然の樹木の感触や香りを感じ、五感を使って、お友達もたくさん作る事ができました。

農業体験と収穫祭 ～大地の恵みに感謝する～

3、11以来千葉市の小学校では、放射能の影響を考え、学校で収穫した作物を学校で調理して食べるができなくなりました。『作物を仲間と一緒に育て、収穫し、その恵みをみんなで感謝していただく経験を、ぜひ子供達にさせたい』という地域の強い要望を受けて『緑のきずな』では、学校で出来なくなってしまった体験を実施しています。去年に引き続き、今年も大変な豊作でした。まるでラグビーボールのような大きなサツマイモが、次々と掘り起こされ、子供達は大喜びでした。立教大学の学生ボランティアが深さ1メートル近く耕してくれたことが、大きなお芋の収穫につながったのだと思います。「昔は、こんなふうに畑のものを収穫した時には、真っ先に仏壇にお供えし『ありがとうございます』と手を合わせたものだ」と97歳の高齢者の方のお話を聞き、改めて私たちの生活の中に、感謝して手を合わせる場面が無くなってしまったことを実感しました。私ごとですが、私は10歳の頃教育の支援で両親とともにブラジルに渡りました。私が最初に目にしたのは、いたるところで裸足の少年たちが、商いをして生計を立てる姿でした。お芋の収穫祭で、私はこの話を子供達にしました。毎日食事ができることは、世界的に見ると決して当たり前のことではありません。『だから、こんな風にみんなでお芋を収穫し、お腹いっぱい食べられることを感謝しようね!』と子供達に伝えました。『汗を流して大地を耕し、愛情込めて作物を育て、大地の恵みに感謝して収穫し、手を合わせていただく。』このプロセスを、一人でも多くの子供に体験してもらいたいと思います。



花園公園 レイズドベッド・プロジェクト

『この公園はきれいですね!』ではなく『この公園は使ってますね!』

花園公園のハーブは、市民が自由に持ち帰り使う事ができます。この冬は、新型コロナウイルス対策として、市民は花園公園のハーブをアロマに!加湿器に入れて楽しむ事ができました。



花見川区地域活性化支援事業

監修：千葉大学園芸学部 岩崎寛研究室

見て、ふれて、香りを感じてください。

気になったら、少しつんでもよいですよ。

花園公園レイズドベッドは、地域の方々が園芸作業を通じて、達成感や満足感、自信や喜びを感じられるコミュニティ作りをビジョンに設置されました。

草花と触れ合い、子どもたちの五感を養い、高齢者の方々の健康寿命を延ばしていくことができたら幸いです。

花園公園のきずな

今年度のプロジェクト

～レイズドベッド・プロジェクト + 地域のゴミ問題～

今年度は、このレイズドベッドプロジェクトに地域が長年抱えてきたゴミ問題をプラスして進めています。今まで地域では、長年に渡り粗大ゴミの不法投棄に悩まされてきました。いくつも不法投棄禁止の立て札をたてましたが効果はありませんでした。そこで、**市立稲毛高校附属中学校のアクティブラーニング**の授業で、地域の問題を生徒たちにいっしょに考えてもらうことにしました。**中学生の自由な発想とアイデア**で**市民のハートを掴むようなレイズドベッドを企画設計**してもらうというプロジェクトです。生徒たちが一生懸命企画制作したレイズドベッドにゴミを捨てる人はいないと私たちは考えています。素晴らしい作品ができると期待しています。

また、現在生徒たちはコロナの影響で、授業や部活ができなくなっています。しかし、ピンチはチャンス! Stay Homeは生徒たちが地域や社会の問題に目を向けるいいチャンスだと私たちは考えています。

来年3月までに市立稲毛高等学校附属中学校の生徒たちが考案したレイズドベッドが花園公園に設置される予定です。協力会社は菊池建設株式会社です。

サツマイモの蔓のリース作り

私たちは、これらの活動を通して

- ・子供の健全育成
- ・高齢者の健康寿命を延ばす取り組み
- ・地域のコミュニティ作り

を目指しています。

